

演芸大会で54組が熱演

観客も千二百人を超す



市民総ぐるみの南国市演芸大会が十月九日、今年も市民体育館で行われ、約千二百人の観客でにぎわいました。

この大会は、市福祉のまちづくり推進協議会や老人クラブが主催の熱演の歌や踊りに観客席もつと

久礼田小学校の北に住む田村恵美子さんは、自宅で小さな学習塾をやっています。子どもたちと接する中、マンガばかりでなくもつと本を読むことの楽しさを知ってもらおうと、図書館にまとめて本を貸してくれるように頼みました。そして、夏休みの八月、白木谷や奈路地区で行っている巡回図書館の一環として、図書館のダブリの児童図書など百六十冊を貸してもらえようになり、田村さん個人の本来合わせて約五百冊の小さな文庫ができました。

小さな図書館

久礼田に『くすのき文庫』

熱演の歌や踊りに観客席もつと



子供たちにぎわう『くすのき文庫』

し、市民の慰安と交流にと、三年前に始められたもので、最近秋の恒例行事としてすっかり市民にも定着してきました。

舞台は、各地区から選ばれた五十四組が、歌や踊りに熱演。中には役者さん顔負けの方もおり、感心したり驚いたり。観客は、やはりお年寄りが多く、ビールを飲みながらのおじいちゃんや、ちらしずしをほおばる親子連れなど、終始なごやかな雰囲気。特に、地元の出番になると、さかなの拍手と声援が飛び、舞台と観客が一体

現在、利用している子供たちは約三十人。中には国府小や岡豊小の友達もいます。読書好きの女の

となった楽しい演芸大会でした。なお、熱演され、各賞を受賞した方は次のとおりです。
優秀賞：踊り・炎の男（西山虎盛（前浜））
熱演賞：踊り・白鷺乃城（片岡幸恵（後免野田））
アイデア賞：踊り・安来節（村田晃外一名（千市））
ユーモア賞：踊り・親子船頭歌（前田繁喜外一名（前浜））
特別賞：落語・乳ぶさ（久礼田水道屋ひねるとしやうく師匠（久礼田））
貸し出し日は毎週一回、火曜日と土曜日の午後五時頃まで、小学生ならだれでも借りられます。連絡先：☎2166 田村まで。

訂正

10月15日号のNo341とあるのは、No391の誤りでした。

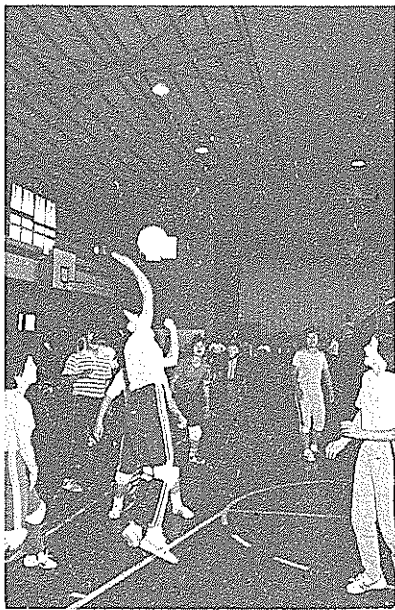


ご家庭で話し合って答ええてください。答えは、この広報に出ています。
●もんだい：十月十六日に行われた市議会議員選挙で新議員○人が決まりました。
●しめきり：11月15日
●あて先：〒783 南国市大井2301 南国市役所内広報委員会親子クイズ係
●答えのハガキには必ず、住所部落名・氏名・年齢・職業を書いてください。
●賞品・特賞千円、三人、残念賞（記念品）五人
第143回正解者発表（敬称略）（応募総数34通）
●答え：②③④⑤パレード
●特賞：千円、三人
●中村久江（前浜）
●則岡定宏（大地）
●小松貴子（立田）
●残念賞・記念品五人
●富田有希子（東崎）野村幸子（里改田）溝淵役（大地）蒲原正子（大地）橋田美紀（片山）

「和」づくりに

PTAがスポーツ大会

「スポーツを通じて、PTA活動のつながりを持つ」とをモットーに、苅ヶ池中のグラウンド、体育館などで十月十日、「第六回市PTAスポーツ大会」が開かれ、小・中学校の子供を持つ父母たち約四百人がバレーボールとソフトボールで親睦を深めました。



バレーボールは和気あいあいで



ソフトボールは珍プレーも続出

市内の小・中学校は十七校（小学校十三、中学校四）で、各学校単位にそれぞれチームを編成、校長先生や教頭先生も加わって熱戦を繰広げました。

PTAの本来の性格や目的は、学校・家庭教育の理解や生徒の校外生活の保護、指導にあると言われ

れています。とかく役員だけの活動になりがちでPTA活動が、スポーツを通じて「親睦や和」を広めることによって、問題の多い青少年の健全育成にも役立つらしいものです。

市PTA連合会の元会長長竹村保夫さんは「スポーツは『和づくりに』最適です。各学校のつながりも年々出来ており、さらに発展させたい」と話していました。成績は次のとおり。
○ソフトボール
①国府小PTA ②岡豊小PTA ③目章小PTA
○バレーボール
①香長中PTA ②三和小PTA ③香南中PTA

南国歌壇

秋雨に庭の主石の苔青み
松の葉すえに水玉光る
西島 岡林きよ
真白い蕎麦の花面をこぼまして
討ち合うが如連呼車がゆく
篠原 小松延江
吉野川の溪流の瀬に降る雨は
深山黄葉の色増しにつつ
大堀 中田憲秀

フルムーンの旅に出むと地図を
繰り 小さな幸に秋の夜更ける
西島 高橋佐代
ローソクに夜伽の鐘の音打ちしめ
裏腹の袖に秋雨かかりて
立田 池田小村
常盤木の青葉したるその中に
間隔まばらに含飲の花咲く
里改田 楠瀬米井

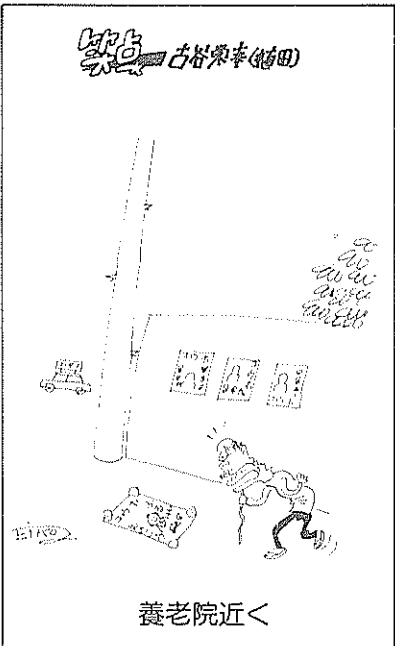
南国柳壇

市議選の終りて嬉し美酒をのむ
古市 島田稔子
かけ膳へこぼす言葉に母の愛
十市 大家寿恵子
逝きし夫四年すぎれど胸あつく
稲生 西川照子
柿葉や笑顔にて客誘ふかな
立田 清岡照子

南国俳壇

のうぜんを低く咲かせて亡夫と棲む
腰だけの台風美女を連れてくる
夜々の星梅香蓮の香に浸る
国宝のもの屋根に咲く音の花
掘り出でし弥生期の規矩蟬飛ぶ
妻叱る声脱殻の音の中
納骨の尼僧読経や蟬時雨
晩涼の橋を見知らぬ人とおる
障子張り上手になつて終わりけり

馬場左枝（忍冬句会）
長野福美（〃）
高村三喜子（〃）
木戸 節（天狼俳句会）
山中日爽（〃）
中村榮生（〃）
沢本吉子（稲生葉月会）
田中準一（〃）
浜田美知（〃）



养老院近く